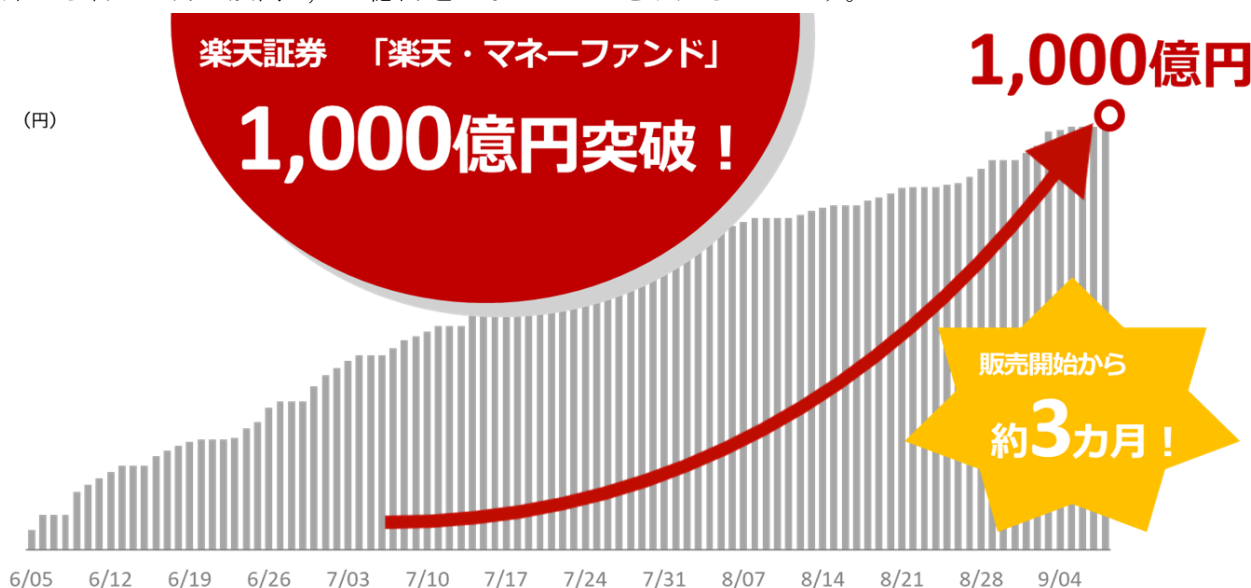


楽天証券、「楽天・マネーファンド」残高 1,000 億円を達成！ - 手間なく効率的に運用できる利便性の高さが好評、取扱開始から約 3 カ月で達成 -

楽天証券株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：楠 雄治、以下「楽天証券」）は、2025 年 6 月 5 日（木）より取扱開始した円建ての利回り運用商品「楽天・マネーファンド」が、取扱開始から約 3 カ月で残高 1,000 億円超となったことをお知らせします。



「楽天・マネーファンド」は、安全性を重視し、流動性に優れた投資信託、MRF（マネー・リザーブ・ファンド）で、株式や投資信託の購入までの間の余裕資金を効率的に運用できる商品です。日々分配がおこなわれ、月末に 1 カ月分の分配金がまとめて運用額に自動で追加されるので、手間なく効率的な複利運用が可能のほか、いつでもお客様が希望するタイミングで資金を追加したり、引き出せる点^{*1}も特徴です。また、「楽天・マネーファンド」の平均利回り（2025 年 9 月 3 日～9 日）は、年率 0.453%（税引前）と、他社取扱商品と比較しても高利回りで運用をおこなっています^{*2}。このたび、取扱開始から約 3 カ月で残高 1,000 億円を達成することができたのは、多くのお客様に本商品の魅力をご評価いただいたものと考えています。将来的には、株式や投資信託の購入時に、保有している「楽天・マネーファンド」から自動で資金を充当することも可能となる予定です。

日本銀行が、2024 年 3 月 19 日（火）の金融政策決定会合で、マイナス金利政策解除を決定して以降、楽天証券は、お客様が保有する資産を有効活用できるサービスを多数提供し、お客様の資産づくりの選択肢を増やしてきました。2024 年 5 月には、米ドル建てで好利回りが期待できる MMF の取扱銘柄を拡充したほか、同年 12 月に、米国株式を楽天証券に貸し出して、金利を受け取ることができる「米国貸株サービス」を、2025 年 2 月には、保有する金融商品を担保に、運用を続けながら必要な資金を得ることができる証券担保ローンの提供を開始しました。

楽天証券は、「資産づくりの伴走者」として、お客様の Financial Well-Being を最大化するべく、今後も継続的に、お客様の余裕資金を活用する選択肢として選んでいただける商品・サービスを随時提供することで、さらなる顧客基盤の拡大を図るとともに、お客様の資産づくりに貢献してまいります。

■「楽天・マネーファンド」 商品概要

購入単位	1 円以上 1 円単位
購入（申込）手数料	無料
管理報酬等	ファンドの元本の額に年率 1%以内の率を乗じて得た額 *表示されている年利回りは信託報酬控除後のものになります
ファンド形態	公募／国内籍／追加型投信／MRF
基本方針	内外の公社債およびコマーシャル・ペーパーを中心に投資をおこない、安定した収益の確保を目指して安定運用をおこないます
決算日	毎日
収益分配方針	毎収益分配は、原則として、信託財産から生ずる利益の全額を毎日分配
販売会社	楽天証券株式会社
委託会社	楽天投信投資顧問株式会社
受託会社	みずほ信託銀行株式会社

■【参考】MRF の平均利回りランキング（2025 年 6 月末時点）※2

	MRF 名称（略称）	運用会社	平均利回り（年率・税引前）
1	楽天・マネーファンド	楽天投信投資顧問	0.4480%
2	三菱 UFJ MRF	三菱 UFJ アセットマネジメント	0.3909%
3	三井住友 MRF	三井住友 DS アセットマネジメント	0.3299%
4	野村 MRF	野村アセットマネジメント	0.3200%
5	日本 MRF	SBI 岡三アセットマネジメント	0.3055%

※1：運用額に追加した翌日から運用開始、引出申込（16 時まで）の翌営業日に現金化可能

※2：各社ウェブサイトの掲載データなどをもとに、QUICK 資産運用研究所がランキングを作成
利回りは過去 7 日平均

以 上

【手数料等およびリスクの説明について】

楽天証券の取扱商品等にご投資いただく際には、各商品等に所定の手数料や諸経費等をご負担いただく場合があります。また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。各商品等へのご投資にかかる手数料等およびリスクについては、楽天証券ウェブサイトの「投資にかかる手数料等およびリスク」ページに記載されている内容や契約締結前交付書面等をよくお読みになり、内容について十分にご理解ください。

商号等：楽天証券株式会社（[楽天証券ウェブサイト](#)）

金融商品取引業者：関東財務局長（金商）第 195 号、商品先物取引業者

貸金業登録番号：東京都知事（1）32007 号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、日本商品先物取引協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会
日本貸金業協会会員 第 006365 号